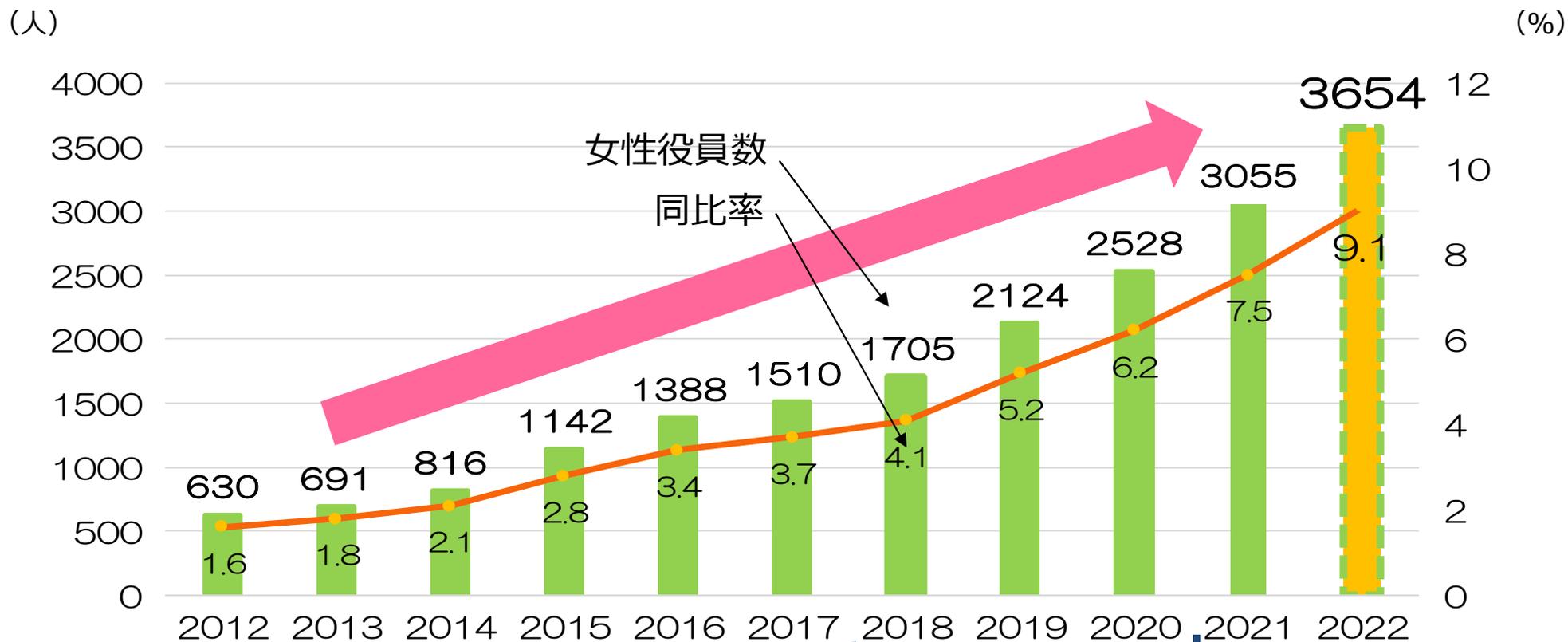


上場企業の女性役員数の推移

- 2006年以降横ばいで推移してきた女性役員数は、2012年以降の10年間で5.8倍に増加と、取組が加速。
- 2022年7月には、女性役員数は前年から599人増加し3654人となったものの、未だ役員に占める女性の割合は9.1%にとどまっている。



総理から経済団体への要請①
(2013年4月)

- ① 上場企業は役員に1人は女性を登用
- ② 育児休業等を取得しやすい職場環境を整備

総理から経済団体への要請②
(2014年6月)

- ① 女性登用に向けた目標を設定
- ② 女性登用状況等の情報開示を推進

有価証券報告書に係る内閣府令改正
(2015年3月31日施行)

役員男女別人数及び女性比率の記載を義務付け

コーポレートガバナンス・コードの改訂
(①2018年6月、②2021年6月)

- ① 取締役会におけるジェンダーや国際性の面を含む多様性の確保を重要な要素とした
- ② 女性の管理職への登用等についての考え方と目標、その状況等の開示を求める

出典: 東洋経済新報社「役員四季報」

(注): 調査時点は原則として各年7月31日現在。調査対象は、全上場企業。

「役員」は、取締役、監査役及び執行役。